

経営企画

有志でチームラボ行ってきました。

経営企画

お昼休みは睡眠金井塚。

msn

OSAKA

CHILLNN

京都サンガ観戦！

OSAKA

クリスマスイブの翌朝・・・

KYOTO

前田さん中島さんの歓迎会！

PRODUCE

仲良しポストとハギハラ

香林居

KYOTO

PRODUCE

PRODUCE

山下さん東京オフィスへようこそ！

香林居

mitosagaイベント大盛り！
大丸マスターをパシャリ（お酒を作ってはくれない）

SUISEI GALLERY 2025

ここは水星ギャラリーです。
最近の近況をみなさんに報告しますか？

エンタメ

エンタメチームで駆け込み万博！

KUMOI

雲井社員旅！東川、いい街です

エンタメ

社員旅行終わりにピーナッツホテル視察

エンタメ

エンタメオフィス近郊にできた謎のトレーニングドランに行きました。残念ながらアスレム度は低いです。

— 巻頭特集

「ものづくりの町」小松の日常をのぞく宿。
土地に根付く「創作的な日々」を編集し直す
「Komatsu Creative Days」構想と「Komado」プロジェクトの全貌。



Komado

約1年半にわたり水星が取り組んできた、石川県小松市の「Komado」プロジェクト。これは、単なる古民家宿の再生ではありません。金沢という強大な観光都市の隣で、「ものづくりの町」・小松の日常に眠る価値を掘り起こし、エリア全体の魅力を再編集していく壮大な試みの第一歩です。このプロジェクトは、既存の古民家再生ブランド「NIPPONIA」の枠組みを使いつつも、水星のクリエイティブで新たな価値を定義し直すという新たな挑戦でもありました。

今回は、このプロジェクトの中核を担ったブランドディレクターの荒木さん、プロジェクトマネージャーの寺内さん、プロデューサーとして伴走した大丸さんを迎え、その戦略と「裏話」に迫ります。

取材：金井塚・西岡
ゲスト：荒木、寺内、大丸

—まず、「Komado」って、私たちがイメージする「古民家宿」とは少し佇まいが違う気がします。特に、1階の、通りに大きく開かれたファサードがすごく印象的です。これはどういった発想なのでしょう？

寺内：実はここ、元々はガレージだったんです。町家を改修すると聞くと、例えば格子やくぐり戸といった表構えを残すイメージがあると思うのですが、この物件は1階がガレージだったので、ある意味「取り壊す前提」でどうしようか、という話から始まりました。

荒木：そこがこのプロジェクトの面白い分岐点でしたよね。もしここに立派な格子が残っていたら、僕らも「絶対それを残しましょう」という判断になっていたはずですが、でも、幸か不幸かそこがガレージだったという「制約」のおかげで、逆に「町に開く」という大胆な設計ができました。見ての通り、カフェのカウンターがそのままホテルのフロントを兼ねていて、僕らはこれを「カクウチチェックイン」と呼んでいます。

寺内：普通、こういう町家の宿は、ファサードの町家らしさを活かした世界観で作りあげることが多いと思うんです。でもKomadoは、あえて境界を滑らかにして、町が溶け込んでいるような体験を目指しました。

—確かに、あまりに重厚で立派すぎる古民家宿って少し緊張してしまうというか、自分には敷居が高いと感じてしまうことがあります。

荒木：まさにそこです。重厚な古民家宿での「THE おもてなし」という体験も素晴らしいですが、今回のプロジェクトではあえて「軽やかさ」を重視しました。

寺内：開業準備中も、地元の方がガラス窓から中を覗き込まれることも多くて。宿泊者でなくても、地元の方がふらっとコーヒーを飲みに来れる、この「軽やかさ」が、「ホテルに入る」という敷居を下げて、地元の方にも愛される理由になればと思っています。

「軽やかさ」のデザイン。 古民家宿を町に開く「カクウチチェックイン」

「金沢と小松」の対比と「NIPPONIA」を活かした新しいブランドづくりの戦略

— 一次に、プロジェクトの背景について伺います。そもそも、なぜ「小松」だったのでしょうか。水星としては「金沢・香林居」で既に北陸に拠点を持ちつつ、あえて隣の小松を選んだということにも、戦略的な狙いを感じます。

大丸：まず、「観光とアート」の金沢に対して、小松は「クリエイション（ものづくり）と生活」の町だという、大きな対比構造を作ったんです。

荒木：「広島と尾道」「京都と奥京都」のように、「金沢と小松」という関係性を作りたい、『金沢もいいけど、これから小松っすよ』と噂される町にしたい、というのがクライアントさんとも共有していたゴールの1つでした。

— なるほど。今回は、既存の「NIPPONIA」という古民家再生のブランドの枠組みを活用するプロジェクトでもありましたよね。ゼロから水星オリジナルブランドを作るのとは、また違う難しさがあったのでは？

大丸：まさに。NIPPONIAは全国に展開する強いブランドですが、それゆえに「NIPPONIAらしさ」という型がある。一方で、それだけだとコモディティ化してしまう恐れもありました。かといって、小松単体でインディペンデントに戦えるほどの圧倒的な知名度があるかという、まだそうではない…その「絶妙のさじ加減」でブランドをどうアレンジするかが、このプロジェクトの肝でした。

荒木：小松の「日常資源」を「観光資源」に変えていく、その大きな構想の合言葉が「Komatsu Creative Days」です。九谷焼のようなメジャーなものから、ネームタグみたいなニッチなものまで、この町に根付く「創作的な日々」を編集し直すんです。その第一弾が、たまたま僕らが得意な「宿」ということで、「Komado」が生まれたわけです。



小さなフックを積み上げる体験設計で、「Komatsu Creative Days」を体現。



— カフェやショップ、客室にも、小松ならではのクリエイティブが詰まっていると聞きました。これだけのパートナーさんを見つけるのは大変だったのでは？

大丸：インターンの萩原さんにリサーチをお願いし、お話ししてきたような今回のコンセプトに合うコラボ先を、色々とセンスよく探ってもらいました。

寺内：そのリサーチを基に、僕らが体験を設計していきました。例えばカフェのドリンクは、コーヒーとお茶の二軸です。コーヒーは、地元で愛されている「リセッタブルー焙煎所」さんをお願いして、Komadoの空間をイメージしたオリジナルの「Komado ブレンド」を作っていたきました。お茶は、宿のすぐ近くにある創業370年の「長保屋茶舗」さんをお願いして、歴史ある加賀茶の茶葉を使っています。

荒木：ここがKomadoのこだわったポイントの1つなんですけど、HOTEL SHEの「レコード」や香林居の「蒸留」みたいに、明確にわかりやすい大きなコンテンツを掲げたら、器としての「町家」という特徴と相まって、冒もたれしそうだなと思ったんです。だからKomadoでは、こうした地元由来の「小さなフック」を丁寧に積み上げて、全体の体験バランスを取ることを目指しました。

寺内：「小さなフック」として、例えば、館内のライブラリーは「キヅキブックス」さんというご夫婦で営む本屋さんに選書をお願いしました。絵本も充実していて、ファミリーでも楽しめます。カフェで使う器は九谷焼の「宮吉製陶」さん、客室の湯呑みも九谷焼で有名な「上出長右衛門窯」さん、お茶請けを乗せるトレーは小松出身の木工芸士・生地史子さんの作品です。

荒木：そして、客室清掃のサイン。これは小松の中川産業さんという、実はネームタグ生産量日本No.2の会社で作ってもらった、工業デザインの技術が光る逸品です。こういう「小ネタ」の方が、知った時に「そうなんだ！」というインパクトが強かったりするんですよね。

— すごい…！まさに「Komatsu Creative Days」の体現ですね。

ネーミングとベンガラ色に込められた秘密 町家の「小窓」から覗く、小松の日常。

— 「Komado」というネーミングは、やはり「小窓」が由来ですか？

荒木：はい。今後、複数の棟を展開していく分散型ホテルであることと、この宿が「小松の日常を覗く窓」であってほしいという想いを込めて、「Komado」と名付けました。

寺内：今回の1棟目は「Komado ベンガラ」ですが、この「ベンガラ」とは、小松の町家を象徴する屋根瓦にも使われている「ベンガラ色（弁柄色）」から来ています。カフェの看板やショップカードにも使っている、この赤色です。

荒木：この色にはちょっと面白い裏話があります。僕らのような外の人間から見ると、屋根が赤いというのはあまり馴染みがなく、このベンガラ色が新鮮ですよ。でも、小松の地元の方からすると、ベンガラ色は「屋根の色」として日常に浴げ込んでいて、馴染みのある色だそうです。もともと印象的だと思ってキーカラーとして取り入れたのですが、結果的に、内（地元民）と外（観光客）の両方に愛されるための絶妙な「距離感」をこの色が作ってくれたという、意図せぬ嬉しい効果が生まれました。

大丸：今後、2棟目、3棟目と増えていくときも、このベンガラ色と「Komado」という名前は、共通のブランド資産として使っていきます。サブネームは「イヌバシリ（犬走り）」や「ムシコ（虫籠窓）」といった、町家の建築様式や要素から取っていく予定です。ここは結構、デザイナーも交えて半分大喜利みたいなノリで決めました（笑）。あまりガチガチにしすぎない、それくらいの感覚の場所であるのがいいのかなと。



—— 体験設計の細部へのこだわりがよく分かったところで、「町家宿」として建物そのものの魅力についてもお聞きしたいです。

大丸：小松は京都よりも土地の区画が広いので、縦に長い町家が作れたそうなんです。その結果、小松では「中庭」を重要視する文化が育ったと聞きました。地元の方から「祖母が嫁ぐ時『庭が立派なところがちゃんとした家』という基準で判断したらしい」という話を聞いたのをよく覚えています。

寺内：今回の Komado の建物も、その中庭がステータス・シンボルという概念を活かしています。部屋は全3室なんですけど、1階の「Room 101（ガーデンビュー）」は、ここは町家の特徴である「中庭」を眺められる落ち着いた部屋です。2階の「Room 201（ストリートビュー）」は、先ほどのカフェの上あたりで、通りに面した格子窓から町の気配を感じられる、コンパクトで使いやすい部屋。そして、一番広い「Room 202（ペンガラスイート）」。ここからは、まさにあのペンガラ色の屋根瓦と中庭の松の木が望めます。

—— 宿の魅力が大変変わってきました。では最後に、Komado が根を張る「小松の町」の楽しみ方について教えてください。

荒木：観光地として、金沢がいわゆる「A面（表）」とすると、小松は「B面（裏）」の魅力が深い町だと感じます。人口10万人規模の都市で、「文化度が高すぎない」のが逆にいい。九谷焼も鑑賞するだけでなく、身近に触れられる距離感なんです。

寺内：隈研吾さん建築の九谷焼体験施設「セラボクタニ」や、圧倒的なスケールの「石切り場（滝ヶ原）」が有名ですが、実は、B級グルメもすごく充実しているのも必見です。小松は「コマツ（小松製作所）」などの工場が集まる「ものづくりの町」なので、そこで働く人たちのための「町中華」が発展して、安くて美味しい名物グルメがたくさんあります。地元の方も「B級グルメは小松が美味しい」とおっしゃってますね。

「B面」の観光地を巡る醍醐味。

荒木：夜は「SHOKUDO YAm」「オーベルジュ オーフ」といったディステイネーション・レストランでイケてる体験をしつつ、昼はB級グルメの塩焼きそばを食べる…この「メリハリ」が小松の楽しさでもあります。

大丸：ちなみに、我々のイチ推しスポットは安宅住吉神社 (<https://ataka.or.jp/>)。ここは「難関突破」にご利益があるというすごいブランディングがされてて。歌舞伎「勧進帳」の舞台になった「安宅の関」で、義経と弁慶が祈願して無事に通過できたという逸話から来ているそうです。

—— それはご利益がありそうですね（笑）。ますます、「Komado」と小松の町に足を運びたくなりました。皆さん、本日はありがとうございました！



▲公式 Instagram



▲公式 Web サイト

今月のお客様 **スナック えなり**
こばやし まい
小林 真衣

ママ まずは、学生時代の話から聞かせてくれる。
 真衣 私は大学女性のマネジメント論を学んでいたんですが、面倒臭いと思ったら分野を問わず首を突っ込むタイプで、フライタルの現場に飛び入りしたりもしていました。
 ママ すごく行動力。特に熱中してたのはあるの。
 真衣 一番夢中になったのは、学生団体での活動から。三千人規模の会場に学生を集めて、企業様から協賛金をいただいたイベントを打つんです。私はイベント周りをチーフとして、舞台イベントを作っていました。
 ママ そこが新卒「ハンチヤー」に行かなくていい理由。
 真衣 そのようなんです。入社してすぐ「責任」になったSNSマーケティングの業務で、私以外の業務部門メンバーが企画始めてしまつたら事件が起きてしまつたんです。ハードワークが原因で。
 ママ 全員退職して聞いたことなら、すわ、すごい展開ね。
 真衣 本当に。でも此頃は「U」はチャンスだ！と思つて、とにかく乗り越えるしか選択肢がなくて。そこからは専務と二人三脚、サービスのリソースランからロゴ作成、遊具製作やトークスク립の作成まで、文字通りゼロから全て構築する日々でした。同業他社での転職も始めて、そこで得たノウハウも本業に還元して、なんとかが事業部を消化まで持つていったんです。「もう一人負たけ」という状態にして、その会社を卒業しました。本誌に大盛ですが、結果的にすくく自信になりましたね。
 ママ 新卒一年目で、事業責任者扱いにならざるを得なかったのね。そのガッツを買われて、次は広告の世界へ。
 真衣 はい、「も」も「つ」を数回「U」にする経験が積もった

真衣 い）と思つて、縦型動画に特化した広告制作会社に転職しました。でもなかなか力が入らず毎日待ち受けていて(笑)。「U」型動画の、深夜なんかも企画が固まらない」みたいなことは日常茶飯事でした。数百円という予算が動くフレッシュのU、まさに脳汁とアドレナリンを垂れ流しながら駆け抜けた。
 ママ ほんわかした見聞のギャップがすごいわ。
 真衣 重い機材を運ぶためにボウリングジムに通つて、体力もメンタルも鍛え上げました(笑)。ローテ製菓様の「U」系施策をPMとして担当した時は、企画から撮影・編集・分析まで一気通貫でやつて、800万回再生を達成できたんです。
 ママ すくく順調なキャリアで、正直転職する理由がなくていいようにも思えるけど、水皇に興味を持つたのはいつだったか。
 真衣 おっしゃる通り、実は、転職意欲はゼロでした。水皇への転職を考えてたきっかけは、「U」イベント「U」を眺んで参加した、博覧会「U」のイベントです。そこへ水皇も来て働かされたのに対して、「U」で遊びながら新しいUが出来るかも」と思つていきました。
 ママ 特にお心に残つてたのは、
 真衣 そうですね。特に心動かされた出会いが「U」あります。Uは荒木さんに「U」はUサポート役じゃなくて、自分でクリエイティブを生み出す利をやりたいんじゃないの？」と言葉化してもらった。もう一つは、今のUでもある花岡さんとの「U」も「U」一緒に新しいUを作りたい」という話に強く共感した。U、Uの知識ゼロで「U」ここでチャレンジしたい」と生後悔い「U」思つて、東京から京都への移住を決めました。
 ママ 実際に入社して、今ほとんどU仕事をしていて。
 真衣 エンタメ事業部の一員として、SNSの企画、制作もやっていますが、公演やキャストのマネジメントまで幅広く、キャストさんの体調確認をしたり、泥まいても多いです。

今月のママの一曲
 カッツがあってパワフルなあなたにピッタリの一曲。

「Meeting in the Ladies Room」
 - Kiyomaxx



真衣 がそれが楽しいんです。早く一人前のプロフェッサーになるために、花岡さんや飯嶋さんの仕事にも心を入れ込んで、できる幅を広げていきたいですね。
 ママ 嬉しいー最後に、真衣さんがくれた水皇、成し遂げたことを改めて。
 真衣 具体的に、私が目指す「縦型動画」、水皇が作る「U」の認知を一気に広げたいです。面白い打ち出し方を工夫して、新しいお客様を事業場に呼び込みたい。な。水皇の魅力は、Uの仕事では待たなかった「U」を提案せしめる手に入ることだと思います。だからこそ、特定のスキルだけでなく、チームの士気を上げられるような個性を持った人と一緒に働きたいです。私自身もそういう存在でありたいですね。

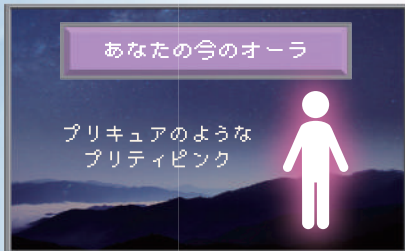


今月のお悩み相談 **飯嶋 崇さん**

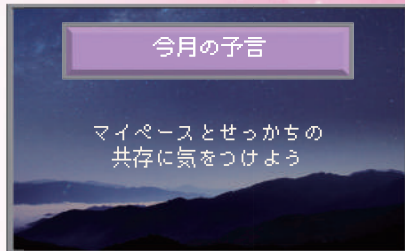
スマホ依存が止まりません。

起きてすぐ触り、通勤の電車でも見続け、ご飯を食べているときも側に置き、ジップロックに入れてお風呂に入り、寝る前にも見てしまいます。

何の生産性もない時間なのですが、脳がドーパミンを欲してスマホを触ってしまいます。助けてください！！



オーラが見える
マダム・モーハさん



飯嶋さんは、相反する2つの感情を両立させることのリスクにジクジクを感じるタイプだと察します。まさにエンターテインメント！(?) そんな飯嶋さんのスマホの充電は常に10~20%にしましょう！「寝てる間に充電しとこっ」なんてことはしてはいけません。充電が切れるかきれないかの間で試してみてください。きっとスクリーンタイムが減ります★

それでも依存する場合は、他の依存先を探せばいいのです。そんな時には「尚熱狂ラジオ」を聴く(画面は見ない!)のがオススメですよ！これを読んでいるそのあなたにも！オススメです！

★ 今月の予言 ★

「赤信号、車が通ってないから渡っちゃお〜」よくしてないですか？それ、危ないで(今月に限っては)やめておきましょう！マイペースとせっかちが共存しているので時間配分に気をつけてください！友達との待ち合わせなんかが大遅刻や大フライングしませんように🔥



水星図書館へようこそ。

水星で働く私たちが日々の仕事や旅、暮らしの中で出会った本を紹介する選書コーナー。ビジネス書や小説、エッセイ、アートブックまで、ジャンル問わず「いま誰かに勧めたい一冊」をピックアップ。あなたの心に、新しい景色を届ける本と出会えますように。

本日のゲスト

小林実可子さん

1.



プロジェクト・ヘイル・メアリー
アンディ・ウィアー

2025年1番アツいSFかもしれない。記憶を失った主人公が人きりて自覚めるところから物語が始まります。そのため全情報がネタバレになるのですが...とにかく魅力が盛りだくさんです。私は後半が大好きです！

2.



庭のかたちが生まれるとき
山内朋樹

美学者で庭師の著者が、1つの作庭現場をつぶさに観察し、庭のなりたちを読み解く庭園論/ドキュメンタリー/制作論。要素が相互作用して作品が生まれるダイナミズムはPMやエンジニアにも示唆があると評判です。

3.



火星の人類学者
オリヴァー・サックス

脳神経科医が脳の病や障害をもつ人の生きる特異な世界を描く、洞察に満ちた医学エッセイ。同じ場所にも見ている世界はみな違い、ゆえに世界は豊かだと思えます。脳面白すぎる。自分のバイブルの1つです。

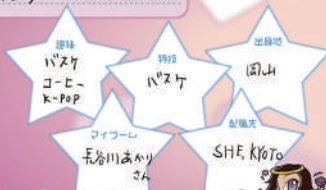
プロジェクト・ヘイル・メアリーは、上巻と下巻がありました。1冊読み終わった段階でまだ半分しか終わっていないなんて、なんて恐ろしい本なのでしょうか？他の2冊は1巻完結の本だったのでみなさん安心して手に取ってください。



Suisei Friends

profile

わたしの基本情報
わたしの名前は うさたし せいや
1997年7月27日生まれの26歳。
血液型はAB型でめいめいから うさこ につて呼ばれてるよ。休みの日は カマエチル をしてあひな。普段は ホテリスタッフ のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うとしたら、かな、よろしくね★



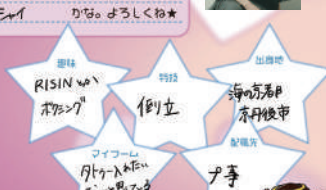
My Favorites

食べもの	場所	ホテル
お肉	家	LOG
音楽	オ・遊技	映画
Best Part	きこまねのり器子 船山俊樹	Before Sunrise
色	小説	有名人
青	Pimer	テヨン

Suisei Friends

profile

わたしの基本情報
わたしの名前は 萩田 早也香
1999年8月19日生まれの25歳。
血液型はB型でめいめいから パトル につて呼ばれてるよ。休みの日は映画 or 旅行 をしてあひな。普段は プロダス のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うとしたら、サイ、かな、よろしくね★



My Favorites

食べもの	場所	ホテル
マホーナ	2222の屋上	今宵出陣
音楽	中野epic chelimo. 4th floor	映画
chelemico. 4th floor	江國 香緒	ホリス エッセイ
色	黄色	有名人
黄色	HARE	ユズキ スズキ

MY BEST3

- No.1
- No.2
- No.3

MY fave talk

推しの名前は？
推しの好きなところは？
推しのセールスポイントは？
推しの魅力は？

Questions

今しはなでしもの	今しはなでしもの場所
今しはなでしものホテル	今しはなでしものセールスポイント
3冊の巻の巻	10冊の巻の巻
巻の巻の巻の巻	巻の巻の巻の巻の巻

IF...!?

もしも...
もしも...
もしも...

MY BEST3

- No.1
- No.2
- No.3

MY fave talk

推しの名前は？
推しの好きなところは？
推しのセールスポイントは？
推しの魅力は？

Questions

今しはなでしもの	今しはなでしもの場所
今しはなでしものホテル	今しはなでしものセールスポイント
3冊の巻の巻	10冊の巻の巻
巻の巻の巻の巻	巻の巻の巻の巻の巻

IF...!?

もしも...
もしも...
もしも...